

決算報告

令和2年度池田町

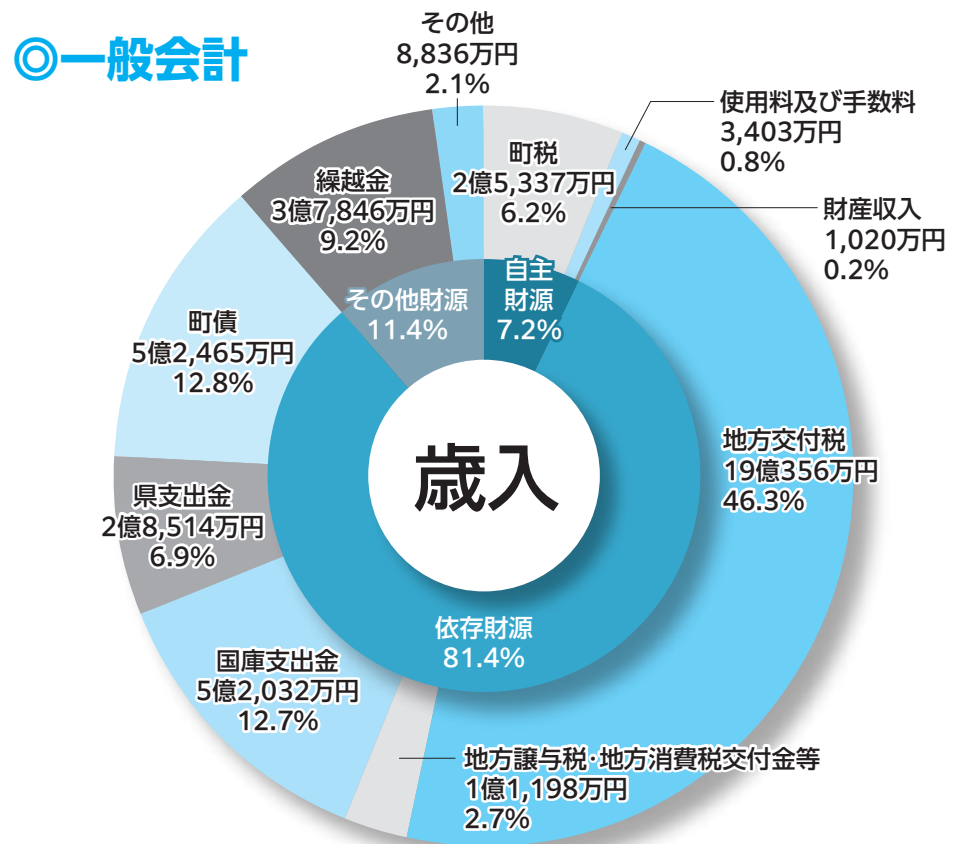
みなさんが納めた税金
はどのように使われている
のでしょうか？また、町の
財政状況はどうなっている
のでしょうか？

令和2年4月1日から
令和3年3月31日までの
町の収入と支出の実績を
報告します。

※端数処理により計数が
一致しない場合があります。



◎一般会計



自主財源

町が自主的に収入できるもの

依存財源

国・県等から交付されるもの

地方交付税

どの地方公共団体でも一定の行政サービス
が提供されるよう国から配分されるもの

地方譲与税

地方公共団体が徴収すべきものを国が徴収し、
一定の基準に基づいて譲与されるもの

地方消費税交付金

皆様に収めていただいた消費税の一部で、県
から交付されるもの
※地方消費税率の引上げ分は福祉や保健衛生
などの社会保障事業に使われています。

国庫支出金・県支出金

町の事業に対し、用途を特定して国・県から支出
される補助金・負担金など

町債

建設事業などを行う際の国・金融機関からの借入

繰越金

前年度からの繰越金

その他

ふるさと納税寄付金、基金からの繰入金や雑収入

町税に占める入湯税：376万円

入湯税は、環境衛生施設や鉱泉源保護、観光振興な
どの費用に充てるために温泉施設の入湯に対して課せ
られる「目的税」です。池田町では現在、深流温泉冠荘
でのみ徴収されています。
令和2年度は観光宣伝事業に使われました。

歳入合計

41 億 1,007 万円

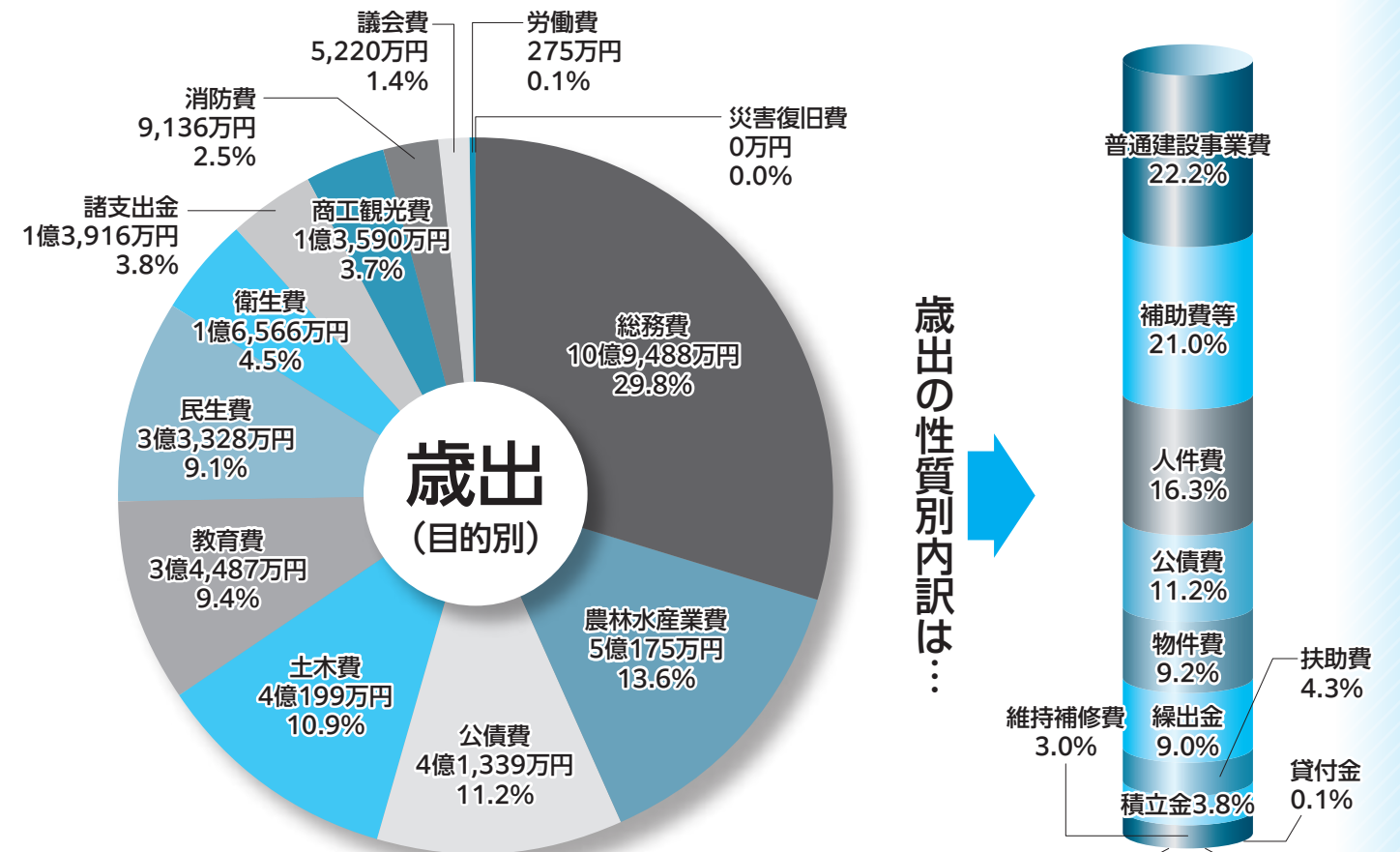
前年度比 6億1,849万円(17.7%) 増

主な要因 ●新型コロナウイルス感染症対策に係る国庫支出金（特別定額給付金給付事業、
地方創生臨時交付金）が増加したため。

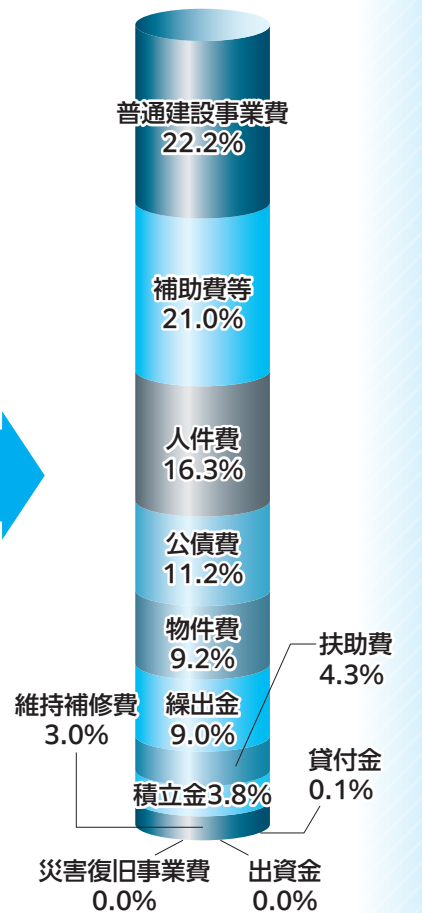
一般会計の収支

歳入－歳出（A）	4 億 3,288 万円
翌年度へ繰り越した事業のための財源（B）	4,036 万円
実質収支（A－B）	3 億 9,252 万円
単年度収支（実質収支－前年度の実質収支）	4,693 万円

「単年度収支」は、当年度の黒字額から、繰越金として引き継いでいた前年度
の黒字額を差し引いたもの。当年度の純粋な黒字額を表します。



歳出の性質別内訳は…



総務費

職員人件費、役場庁舎管理、
選挙、広報紙発行、防災、公
共交通などに使いました。

農林水産業費

農林業振興、鳥獣害対策、農
業用施設・林道整備などに
使いました。

公債費

国などから借りたお金の返済
に使いました。

土木費

道路・橋梁・河川の整備・
維持管理、除雪などに使いま
した。

教育費

なかよしこども園・小中学校
の運営、能楽振興などに使
いました。

民生費

高齢者や子どもなどの福祉向
上に使いました。

衛生費

健診、予防接種、ゴミ処理な
どに使いました。

諸支出金

役場新庁舎建設基金や財政調
整基金などへ積み立てました。

商工観光費

観光PR、観光施設整備、商
工業者支援、町営住宅管理な
どに使いました。

消防費

消防活動に使いました。

議会費

議員報酬、議会運営に使いま
した。

労働費

労働福祉の向上に使いました。

災害復旧費

被災した河川・林道の復旧に
使います。令和2年度におい
ては発生しませんでした。

補助費

各種団体への補助
金など

物件費

消耗品費、光熱水
費など

扶助費

高齢者や子どもな
どの福祉向上に使
いました。

維持補修費

施設管理、道路除
雪に使いました。

歳出合計

36 億 7,719 万円

前年度比 5億6,408万円(18.1%) 増

主な要因 ●デジタル防災行政無線整備工事を実施したため。
●新型コロナウイルス感染症対策（特別定額給付金給付事業など）を実施したため。

◎特別会計

種 別	歳 入	歳 出	歳入－歳出
国 民 健 康 保 険	2 億 7,027 万円	2 億 6,421 万円	606 万円
国民健康保険診療施設	1 億 6,843 万円	1 億 5,945 万円	898 万円
簡 易 水 道	2 億 6,507 万円	2 億 6,415 万円	92 万円
下 水 道 事 業	1 億 8,915 万円	1 億 8,885 万円	30 万円
農 業 集 落 排 水 事 業	5,409 万円	5,396 万円	13 万円
介 護 保 険	4 億 3,595 万円	4 億 183 万円	3,412 万円
後 期 高 齢 者 医 療	4,766 万円	4,727 万円	40 万円

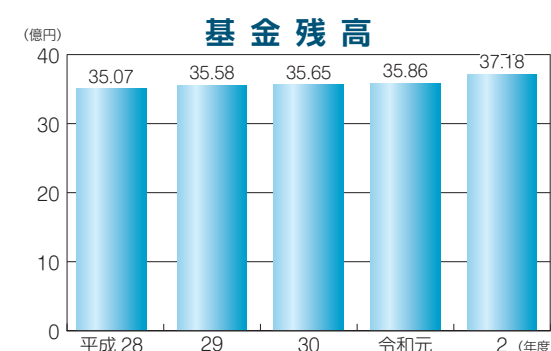
※黒字分は令和3年度へ引き継ぎました。



町の基金（預金）はどのくらいあるの？

残 高
37億1,816万円

将来の財源不足に備えたり、今後実施が見込まれる事業の財源とするために積み立てておくお金です。
前年度から1億3,218万円増加しました。



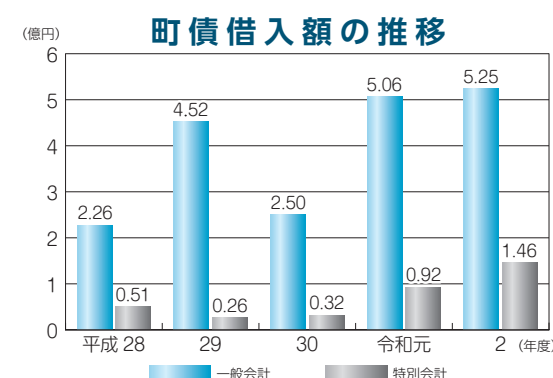
主な基金

種 別	残 高	使 途
財 政 調 整 基 金	13億4,515万円	将来の財源不足に備えます。
庁 舎 建 設 基 金	6億8,919万円	役場新庁舎の建設に備えます。
観光施設整備基金	4億4,524万円	観光施設の整備に備えます。
減 債 基 金	2億7,076万円	町債の償還に備えます。

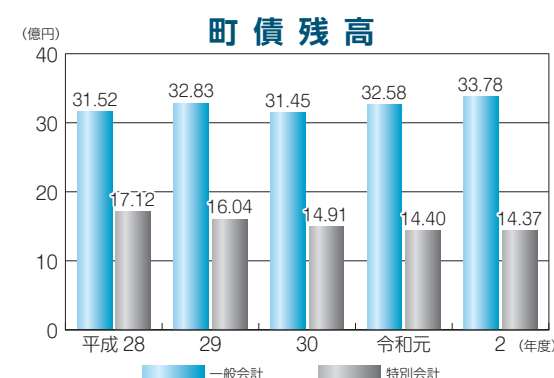


町債（借金）はどのくらいあるの？

令和2年度借入額
一般会計
5億2,465万円
特別会計
1億4,580万円



残 高
一般会計
33億7,772万円
特別会計
14億3,681万円



主な町債（一般会計）

種 別	令和2年度借入額	令和2年度使途	残 高
緊急防災・減災事業債	3億2,700万円	デジタル防災行政無線の整備に使いました。	3億4,316万円
過 疎 対 策 事 業 債	1億3,580万円	道路整備や観光施設運営などに使いました。	18億582万円
臨 時 財 政 対 策 債	5,145万円	使途を定めず使いました。	6億450万円
辺 地 対 策 事 業 債	320万円	ツリーピクニックアドベンチャーいけだの整備に使いました。	5億1,153万円

令和2年度 財政指標

財政指標とは、財政の健全性をチェックするためのもの。池田町を含む全地方公共団体は「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」（財政健全化法）に基づき、決算の数値を使って4つの「健全化判断比率」を計算し、公表することが義務付けられています。

健全化判断比率（％）

	池田町	早期健全化基準 (危険な数値)	財政再生基準 (極めて危険な数値)
実 質 赤 字 比 率	—	15.0	20.0
連結実質赤字比率	—	20.0	30.0
実質公債費比率	5.9	25.0	35.0
将 来 負 担 比 率	—	350.0	

実質赤字比率

一般会計の赤字の大きさを示す指標。令和2年度は黒字のため、数値はありません。

連結実質赤字比率

特別会計を含むすべての会計を合算した、地方公共団体全体としての赤字の大きさを示す指標。令和2年度は黒字のため、数値はありません。

実質公債費比率

経常的に収入される財源のうち、町債償還（借入金の返済）に充てる割合を示す指標。直近3か年の平均が用いられます。令和2年度は前年から0.6%増加しました。

将来負担比率

町債残高などの将来負担すべきものが、町税や地方交付税といった町の収入に対してどの程度の割合なのかを示す指標。この数値が増加すると、将来的に町債償還が財政を圧迫する（借金で首が回らなくなる）ことを意味します。令和2年度は数値はありません。財政調整基金等への積立てを継続していることや、町債の多くが普通交付税による補填割合の高い（実質返済額の低い）「過疎対策事業債」「辺地対策事業債」であることが理由として挙げられます。

各指標が「早期健全化基準」や「財政再生基準」を 超えるとどうなるの？



池田町は現在、どの指標も基準内に収まっていますが、もし超えてしまうと、財政健全化や再生のための計画を定め、実行に移さなければなりません。国・県の勧告を受けたり、町債の発行が制限されることもあります。

資金不足比率（％）

公営企業の赤字の大きさを示す指標。令和2年度はいずれも黒字のため、数値はありません。

種 別	資金不足比率	経営健全化基準 (危険な数値)
簡 易 水 道 特 別 会 計	—	20.0
下 水 道 事 業 特 別 会 計	—	
農業集落排水事業特別会計	—	

町財政の今後の見通し

令和2年度の町財政はおおむね良好な状況であったことがわかりました。役場新庁舎・図書館や観光施設を整備するため借り入れる（借り入れた）町債の償還が始まると悪化するおそれがありますが、「庁舎建設基金」「教育文化施設整備基金」「観光施設整備基金」を設け、あらかじめ財源を確保しています。

今後、維持管理費のかかる公共施設の合理化や、地域経済活性化による自主財源の拡大などを図り、より安定した財政運営を目指します。

